

【資料1】単元（Unit 5）の指導計画（Part 1～Part 3まで、6時間扱い）

小単	時	指導目標	学習活動	Gアップシートの活用
P a r t 1	1	名詞の複数形を理解させる	「数」を表す単語の復習をする 名詞の複数形の表し方を理解し、練習する 教師が話した英語を聞き取る 本時の学習のまとめをする	導入時に使用 ・既習である「数」を表す単語の復習をさせる 展開時 に使用 ・複数形の表し方を確認し、練習させる ・教師が話した英語について書き取らせる
	2	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	導入時に活用 ・小テストとして用い、前時の学習の復習を図る 展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる
P a r t 2	3	"How many ~"の表現を理解させる	既習事項の復習をする 「いくつ」とたずねる表現を理解し、練習する 本時の学習のまとめをする	導入時に活用 ・基本文にかかわる既習事項について復習させる 展開時 に使用 ・基本文の練習をさせる
	4	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる
P a r t 3	5	"Let's ~"と命令文の表現を理解させる	既習事項の復習をする "Let's ~"と命令文の表現を理解し、練習する 本時の学習のまとめをする	導入時に活用 ・既習の動詞の復習をさせる 展開時 に使用 ・基本文の練習をさせる
	6	教科書本文の内容理解をさせる まとまりのある英文を読み取らせる	新出語句の確認、練習をする 教科書本文の音読練習をする 教科書本文の内容理解をする まとまりのある英文を読み取る練習をする	導入時に活用 ・前時に宿題として指示をしており、前時の学習の復習を図る 展開時 に使用 ・「読み取り」用のGアップシートを用いて、読み取る練習をさせる

「Unit 5 Part 1」の指導展開案 (1 / 6 時間)
 (1)目標 名詞の複数形を理解することができる。
 (2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入 10分	1 既習事項の復習	・教科書(p.22)を用いて、「数」を表す単語の復習をする。	B -1[1]で「数」を表す単語の復習をさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用いて、教師の後について十分に発音の練習をさせる。 ・シートに数を表す単語を書かせ、スペリングの確認をさせる。 ・学級全体で答え合わせを行い、音と文字の定着を図る。 </div>
展開 35分	「2つ以上のもの」を英語で表現しよう		
	2 基本文の理解と練習 (5分)	・名詞の複数形の表し方を理解する。 「もの」が描かれたカードを見て、単数形でその名前を確認する。 「cat, T-shirt, desk」等が書かれてあるカードを使用する。 数名の生徒に、カードに書かれてあるものを英語で言わせる。	B -1[2]で複数形について確認させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用いて複数形の作り方を確認し、シートの説明文に言葉を補わせる。 ・シートの単数形で書かれた単語を複数形に直させる。 ・ペアで答え合わせをさせ、間違いを修正させる。 </div>
	(10分)	複数形についての説明を聞いて理解、練習する。	
	(10分)	班内で協力しながら、教師が話した「数」と「もの」を当てる。 班内で順番を決めさせ、教師が示したカードについて、全生徒に「数」と「もの」のカードを選ばせる。	
	(10分)	・シートに教師が話した英語を書き取り、名詞の複数形の表し方を練習をする。 上位の生徒には[1][2]を見ないよう、下位の生徒には見ながら書いてもよい、と指示を出す。	B -1[3]に、教師が話した英語を書き取らせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・シートの[1][2]で練習した単語を用いて、教師が「数」と「もの」を表す英語(two guitars など)を話し、シートに書き取らせる。 ・黒板を用いて答え合わせを行い、発音練習につなげる。 </div>
終末 5分	3 本時のまとめ	・「今日のまとめ」をノートに書く。 本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。 ・次時の始めに、数と複数形について小テストを行うことを確認する。 ・p.42 新出語句の予習をしていくことを確認する。	

「Unit 5 Part 1」の指導展開案 (2 / 6時間)

- (1)目標 教科書本文の内容を理解することができる。
 まとまりのある英文を読み取ることができる。

(2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入 10分	1 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> 前時に課した課題を小テストで確認する。 前時と同様の問題で小テストを行うことで、前時の学習内容の定着度を見る。 	B -1[3]に、教師が話した言葉を書き取らせる。 ・ B-1[3]のみのシートを配布し、前時と同様、教師が「数」と「もの」を表す英語を話し、シートに書き取らせる。
展開 35分	英文を読み取ろう		B -2を用いて、「読み取る」問題に取り組ませる。 ・ 教師の後について本文を音読させる。 ・ 個人で問題に取り組ませる。 ・ 全体で答え合わせをする。 ・ 全体で本文の音読練習をする。
	2 新出語句の確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 予習ノートの確認をする。 発音、意味の確認、練習をする。 フラッシュカードを使用する。 	
	3 本文の音読 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の後について読む。 個人で練習する。 ペアやグループで練習する。 生徒全員で読む。 発音・音読練習においては、しっかり声を出して練習するよう促す。 	
4 本文の内容確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 補助シートの設問に従って内容の確認をする。 再度全員で本文の音読をする。 補助シート を使用する。 内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。 		
5 読み取りの練習 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り問題に取り組む。 解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。 生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組むことを意識させる。また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。 		
終末 5分	3 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 補助シート を使用する。 本時の目標にどれくらい近づけたか、自己評価をさせる。 次時は Part 2 を学習することを確認する。 	

「Unit 5 Part 2」の指導展開案 (3 / 6 時間)

(1)目標 "How many ~ " の表現を理解することができる。

(2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入 10分	1 既習事項の復習	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の疑問文の作り方を復習する。 「主語 + 動詞」の位置や、 "Do you ~ " の文における " Do " の位置を確認させる。 	<p>B-3[1]で既習事項の復習をさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の肯定文と疑問文をシートに書かせる。 シートに書き込んだ後、発表させて、全体で口頭練習を行う。 </div>
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">「いくつ」とたずねる表現を覚えよう</div> 2 基本文の理解と練習 (5分) (15分) (15分)	<ul style="list-style-type: none"> 教師と英語で会話をする中で、「いくつ」とたずねる表現を見つける。 教師があらかじめ準備しておいたものについて、複数の生徒にその数を英語で尋ねることを通じて、数を尋ねる表現について推測させる。 "How many ~ " の使い方を確認し、練習する。 練習が進まないペアには個別に基本文の説明をして、理解を促す。 基本表現の練習をする。 解答が進まない生徒には、黒板で確認したことを示して、語順について意識させる。 	<p>B-3[2]で数を尋ねる表現の練習をさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 提示された品物について、自分がいくつ持っているかをシートに書き込ませる。 英語で数を尋ねる文をシートに書かせる。 黒板を用いて、数を尋ねる文について全体で確認する。 B-3[1]の(1)を用いて答え方を確認し、ペアで会話練習をさせる。 </div> <p>B-3[3]を使用する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> [3]の練習問題に取り組みさせる。 黒板を用いて答え合わせを行った後、全体で口頭練習を行う。 </div>
終末 5分	3 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「今日のまとめ」をノートに書く。 本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。 p.44 新出語句の予習をしていくことを確認する。 	

「Unit 5 Part 2」の指導展開案（4 / 6時間）

- (1)目標 教科書本文の内容を理解することができる。
 まとまりのある英文を読み取ることができる。

(2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入 10分	1 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と「いくつ」とたずねる表現について会話をして、前時の学習内容を思い出す。 前時と同様、教師があらかじめ準備しておいたものについて、その数を英語で尋ね、前時の学習内容を想起させる。 	
	英文を読み取ろう		
展開 35分	2 新出語句の確認（5分） 3 本文の音読（5分） 4 本文の内容確認（5分） 5 読み取りの練習（20分）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習ノートの確認をする。 ・ 発音、意味の確認、練習をする。 フラッシュカードを使用する。 ・ 教師の後について読む。 ・ 個人で練習する。 ・ ペアやグループで練習する。 ・ 生徒全員で読む。 発音・音読練習においては、しっかり声を出して練習するよう促す。 ・ 補助シートの設問に従って内容の確認をする。 ・ 再度全員で本文の音読をする。 補助シート を使用する。 内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。 ・ 読み取り問題に取り組む。 解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。 生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組むことを意識させる。また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。 	B-4を用いて、「読み取る」問題に取り組ませる。 ・ 教師の後について本文を音読させる。 ・ 個人で問題に取り組ませる。 ・ 全体で答え合わせをする。 ・ 全体で本文の音読練習をする。
終末 5分	3 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を振り返る。 補助シート を使用する。 本時の目標にどれくらい近づけたか、自己評価させる。 ・ 次時は Part 3 を学習することを確認する。 	

「Unit 5 Part 3」の指導展開案 (5 / 6時間)

(1)目標 "Let's ~ " の表現と命令文を理解することができる。

(2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入	1 既習事項の復習 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 既習の一般動詞を復習する。 walk study drive go have listen speak use 薄字をなぞらせる際、合わせて発音しながら書くよう促す。 意味を覚えていない生徒については、辞書を使うよう指示する。 	<p>B-5[1]で既習の一般動詞を復習させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 薄字の単語をていねいになぞらせる。 単語の意味を()に書かせる。 ペアで答え合わせをした後、教師の後について発音練習をさせる。 </div>
10分		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「～しよう」「～してください」「～しなさい」 という表現を覚えよう </div>	
展開	2 基本文の理解と練習 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 「～しよう」という文を確認する。 単語" Let's "を確認し、前出の肯定文を「～しよう」という文に変えさせる。 	
	(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 命令文の確認をする。 命令文の作り方を教科書 p.44 の注釈で確認し、前出の肯定文を命令文に変えさせる。 	
	(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 「～しよう」という文と命令文の練習をする。 解答が進まない生徒には、黒板で確認したことを示して、語順について意識させる。 	<p>B-5[2]で"Let's ~ "の表現と命令文の練習をさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> [2]の練習問題に取り組みさせる。 黒板を用いて答え合わせを行った後、全体で口頭練習を行う。 </div>
35分	(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p.47 Listen に取り組む。 	
終末	3 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「今日のまとめ」をノートに書く。 本時に学習したことをまとめ、学習の定着を図る。 p.46 新出語句の予習をして確認することを確認する。 p.47 Your Turn を宿題とすることを確認する。 	<p>B-5[3]にp.47 Your Turn を書いてくるよう、指示する。</p>
5分			

「Unit 5 Part 3」の指導展開案（6 / 6時間）

- (1)目標 教科書本文の内容を理解することができる。
 まとまりのある英文を読み取ることができる。

(2)展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動 補助教材及び指導上の留意点	G アップシートの活用 ・ 具体的活用方法
導入 10分	1 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p.47 Your Turn の確認をする。 "All right."など、返答の表現も確認し、ペア練習に臨ませる。 	B-5[3]を使用する。 ・宿題として B-5[3]に書かせたものの答え合わせをさせる。 ・その後ペアで話す練習をさせる。
展開 35分	英文を読み取ろう		B-6を用いて、「読み取る」問題に取り組ませる。 ・教師の後について本文を音読させる。 ・個人で問題に取り組ませる。 ・全体で答え合わせをする。 ・全体で本文の音読練習をする。
	2 新出語句の確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 予習ノートの確認をする。 発音、意味の確認、練習をする。 フラッシュカードを使用する。 	
	3 本文の音読 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の後について読む。 個人で練習する。 ペアやグループで練習する。 生徒全員で読む。 発音・音読練習においては、しっかり声を出して練習するよう促す。 	
4 本文の内容確認 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 補助シートの設問に従って内容の確認をする。 再度全員で本文の音読をする。 補助シートを使用する。 内容確認後に音読活動を取り入れることで、内容理解の定着を図る。 		
5 読み取りの練習 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り問題に取り組む。 解答時間を設定することで、限られた時間の中で取り組むことを意識させる。 生徒の学力に応じて辞書や教科書を見ることを指示し、あきらめずに取り組むことを意識させる。また、解答が進まない生徒には机間指導により支援する。 		
終末 5分	3 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 補助シートを使用する。 本時の目標にどれくらい近づけたか、自己評価させる。 	